

中期経営計画書

法人名：青森空港ビル株式会社

法人の設立目的	<p>青森空港は昭和39年11月滑走路延長1,200メートルで供用開始したが、激増する航空輸送需要に対応できないことからジェット機が就航できる新空港の建設を各方面から強く要望された。そのため、青森県は滑走路方向を修正し、昭和62年7月滑走路2,000メートルで供用開始を目途に建設を推し進めた。この空港の整備はエアバスクラスの大型機の就航も可能で今後飛躍的に増加する航空需要に十分対応することは勿論、青森地域テクノポリスの推進を中心とする青森県の経済、文化等各方面の発展に多大の貢献をするものと期待された。こうした新空港の拡充整備に伴い、空港利用者に対し十分その使命を果たしうような空港ターミナルビルの建設が必要となった。そこで、青森県は、県及び関係市町、航空会社並びに経済界等が一体となって、青森県の空の玄関にふさわしい近代的な新ターミナルビルの建設を目指した。その運営にあたる「青森空港ビル株式会社」を昭和60年4月1日に設立した。</p>
経営目標	<p>青森県の空の玄関口として、また、空港施設としての「社会的使命」を認識し、安全・安心・快適なサービスを提供するとともに、経営の安定に努め、青森空港が持続可能で真に魅力ある空港に発展するための指針となる「青森空港活性化ビジョン」の目標達成に向け最大限の努力を傾注し、事業を展開する。</p>
中期経営計画の基本方針	<p>(1) 財政基盤の強化 企業として安定的な成長を達成するため、収入面においては付帯事業収入の増収策を強化する。一方、費用面においては事業の選択と集中による業務の効率化を行い、外部環境の変化に強い企業体質への改善を図る。</p> <p>(2) 真に魅力ある空港の実現 青森空港が地域活性化の核となる魅力ある空港として持続的な運営がされるよう、顧客目線に立ったサービスの提供や施設整備を行い、航空会社や利用者が安心して空港を利用できるサービス水準の維持・向上に努める。 また、青森県や利用促進団体などと連携を強化し「青森空港活性化ビジョン」の達成に向けた取組を強化する。</p>
中期経営計画における具体的目標	<ol style="list-style-type: none">1 収益の最大化(増収対策)2 費用の削減及び生産性向上3 利便性、快適性の提供4 魅力ある商品・サービスの提供5 集客、誘客の創造

目標に係る具体的取組及び目標値

- 前記目標1に係る具体的取組
- ・エアポートラウンジ利用者の拡大を図る。
 - ・免税売店の増収対策を行う。

指標(目標値)

- ・エアポートラウンジ売上高(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	21,320	35,771	36,308	36,853	37,406
実績	21,315				

- ・免税売店売上高(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	28,198	24,397	24,763	25,134	25,511
実績	28,854				

前記目標2に係る具体的取組

- ・中期的な視点に基づく光熱費の省エネルギー化を図る。
- ・組織、定数の最適化及び人件費の見直しを図る。

指標(目標値)

- ・照明のLED化等の設備更新による省エネルギー化

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
省エネルギー化の検討		実施	⇒	⇒	⇒
実績	H27年度予算化				

- ・人件費見込(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	123,949	126,890	131,135	137,318	135,358
実績	125,599				

前記目標3に係る具体的取組

- ・エアポートラウンジのリニューアルの実施。
- ・旅客ターミナルビルのリニューアル計画策定及び整備を行う。

指標(目標値)

- ・エアポートラウンジリニューアル工事費

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	60,000千円				
実績	56,641千円				

- ・旅客ターミナルビルのリニューアル計画推進

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
旅客ターミナルビルリニューアル計画 素案策定費 2,500千円		旅客ターミナルビルリニューアル基 本計画策定・整備実施	⇒	供用開始	
(実績)	素案策定完了 2,300千円				

前記目標4に係る具体的取組

- ・オリジナル商品の開発・販売を行う。
- ・接客教育研修を実施する。

指標(目標値)

- ・オリジナル商品の開発アイテム数及び開発費用

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
アイテム数 2商品 開発費用 1,500千円	アイテム数 2商品 開発費用 1,098千円	アイテム数 2商品	アイテム数 2商品	アイテム数 2商品
(実績) アイテム数 2商品 開発費用 1,044千円	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)

- ・接客教育研修の実施回数及び参加者数

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実施回数 2回	実施回数 2回	実施回数 2回	実施回数 2回	実施回数 2回
(実績) 実施回数 2回 参加者数 45人	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)

前記目標5に係る具体的取組

- ・青森空港活性化ビジョン実施メニューの推進

指標(目標値)

- ・青森空港活性化ビジョン実施メニュー数

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
16	11	9	8	
(実績) 13	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)

定数管理(役・職員数)		(単位:人/上段:計画、下段:実績)					
項目		25年度(実績)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
常勤役員	県派遣職員	—					
	県職員OB	— 2	2 2	2	2	2	2
	民間からの役員	—					
	プロパー職員	—					
小計①		— 2	2 2	2 0	2 0	2 0	2 0
常勤職員	県派遣職員	—					
	県職員OB	—					
	民間からの役員	—					
	プロパー職員	— 11	10 10	10	11	11	11
小計②		— 11	10 10	10 0	11 0	11 0	11 0
非常勤役員	県・市町村関係	— 5	5 5	5	5	5	5
	民間からの役員	— 9	9 9	9	9	9	9
	小計③	— 14	14 14	14 0	14 0	14 0	14 0
非常勤職員	県職員OB	—					
	その他の職員	—					
小計④		— 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
臨時職員⑤		— 6	6 6	7 0	7 0	7 0	7 0
合計(①~⑤)		— 33	32 32	33 0	34 0	34 0	34 0

収支計画		※株式会社、特別法法人用					(単位:千円/上段:計画、下段:実績)
項目		平成25年度(実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入	不動産収入	478,611	498,855 497,671	504,647	510,755	521,001	523,919
	免税売店売上高	18,418	28,198 28,854	24,397	24,763	25,134	25,511
	販売機売上高	5,491	4,651 4,533	4,428	4,428	4,428	4,428
	通信販売・催事売上高	1,508	3,782 3,847	5,998	7,644	8,441	9,398
	ラウンジ売上高	23,035	21,320 21,315	35,771	36,308	36,853	37,406
	清掃料収入	5,931	7,694 7,694	7,846	7,846	7,846	7,846
	広告収入	17,134	17,858 17,858	19,014	19,299	19,588	19,882
	その他収入	3,806	1,372 1,363	1,103	1,103	1,103	1,103
	受取利息・配当金・雑収入	5,584	4,346 4,332	4,417	3,665	3,665	3,665
	計	559,518	588,076 587,467	607,621	615,811	628,059	633,158
支出	売上原価	23,164	30,868 30,953	33,641	35,486	36,474	37,595
	人件費	131,580	123,949 125,599	126,890	131,135	137,318	135,358
	減価償却費	100,660	94,608 95,631	92,412	81,791	76,675	72,478
	ビル管理費	64,709	63,724 63,551	64,952	64,952	64,952	64,952
	水道光熱費	55,935	61,725 61,224	60,687	60,687	60,687	60,687
	租税公課	22,321	22,202 22,101	22,326	22,326	22,326	22,326
	修繕費	9,687	12,155 12,106	9,283	9,858	9,858	9,858
	その他の費用	59,892	75,703 80,325	68,966	66,406	62,830	62,830
	固定資産除却損	0	4,449 8,114	29	1,140	1,140	1,140
	計	467,948	489,383 499,604	479,186	473,781	472,260	467,224
税引前当期利益		91,570	98,693 87,863	128,435	142,030	155,799	165,934
法人税等		36,603	36,442 36,745	47,281	52,267	57,334	61,064
税引後当期利益		54,967	62,251 51,118	81,154	89,763	98,465	104,870

(注)人件費は、報酬(役員、嘱託員の件費)、給料、各種手当、賃金、法定福利費(社会保険料の事業者負担額)、退職給与引当預金支出等の合計額

<注記>

- 収入の推計の考え方: 不動産収入はH26年度の契約先ごとに推計した。付帯事業収入については、H26年度の売上に売上目標値を加えて算出した。
- 年度毎の付記すべき特記事項: H27年度ラウンジ売上高の増加は、エアポートラウンジリニューアル及びカード会員利用契約追加によるもの。
- 支出の推計の考え方: H26年度～H27年度において青森空港ターミナルビルリニューアル計画を策定中であるが、その費用については現時点で見積ることができないため、支出の推計には含めていない。
- 年度毎の付記すべき特記事項: 人件費は、H27年度に臨時業務員1名、H28年度に社員1名増員とした。

長期借入金償還計画		(単位:千円/上段:計画、下段:実績)					
項目		平成25年度(実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
前年度借入残高	—	0	0	0	0	0	0
当該年度借入額(新規)	—	0	0	0	0	0	0
当該年度元金償還額	—	0	0	0	0	0	0
当該年度末借入残高	—	0	0	0	0	0	0

中期経営計画に対する所管課の意見	
基本方針について	<p>安定的な財政基盤を築くため、増収策を強化し、業務の効率化を図ること。</p> <p>また、利用者の利便性・サービスの向上に努め、「青森空港活性化ビジョン」の目標達成に向けた取り組みを強化すること。</p>
具体的取組・指標の設定について	<p>拡張・リニューアルや老朽化により、設備投資に多額の費用を要することが予想されることから、適正な旅客ターミナルビルのリニューアル計画等を策定すること。</p> <p>また、光熱費の省エネルギー化、組織・定数の最適化及び人件費の見直し等により、コストの低減を図ること。</p>
定数管理について	<p>経営に支障が無く、効率的な経営が可能な組織・定数の最適化に努めること。</p>
収支計画について	<p>利用者の利便性・サービスの向上に努めることにより増収策を強化するとともに、設備投資に多額の費用を要することから中期施設保全計画等の適切な執行管理に努め、健全な経営を行い、経営基盤の強化を図っていくこと。</p>

所管課の方針	
今後の県としての関与について	<p>県が最大の出資者であることから、「青森空港活性化ビジョン」の目標達成に向けた取り組みや、経営の合理化や経営基盤の強化等に対して、助言、協力を行う。</p>